令和８年度

飯尾敷地小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

〇規律ある学習活動を行い、学習習慣の定着を図る。

〇児童の「できた・わかった」をめざす学習指導を試行する。

校長　後藤　由美

学力向上推進員　菜田　美和

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇年間を通して漢字や計算のミニテストを実施することで、読み書き計算の基礎的・基本的な力が身に付いてきている。 ●語彙力や読み取る力に課題がある。	・各学年で学習する漢字や計算を身に付けることができる。 ・学んだことや自分の考えを文章に書くことができる。	・ICT機器や復習プリントを活用し、既習内容を繰り返し復習する機会を設ける。 ・読み聞かせや読書の時間を確保したり教科書や国語辞典等を活用したりして、読み取る力や書く力を高められるようにする。	・継続して繰り返し復習する機会を設ける。 ・書く力を高めるために、自分の考えを短く書いたり、月に１回程度視写の活動を取り入れる。		

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇友達と共に学び合うことで、多様な考えを身に付けつつある。 ●じっくりと課題に取り組み、身に付けた知識や技能を活用することに課題がある。	・既習内容や身に付けた技能を活用することができる。 ・自分が学んだことを振り返り、確かめることができる。	・児童が身に付けた知識や技能を活用できるよう、学習の提示の仕方や導入の仕方等を工夫する。 ・児童が学びを振り返られるよう、振り返り項目を整理し、学習の定着を把握し、次の学習につなげる。	・下学年の教科書を振り返ったりクイズ等を取り入れたりして、児童が興味をもって学習を始められるようにする。 ・学習のまとめとして、身につけた知識技能を披露できる学習の時間を設定する。		

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況（〇よさ・●課題）	具体的目標（目指す子供の姿）	具体的方策（教員の取組）	中間期の見直し	達成状況（評価）	次年度における改善事項
〇体験的な活動においては、興味をもって活動することができる。 ●課題に粘り強く取り組んだり、主体的に学習に取り組んだりすることに課題がある。	・学習規律を守り、様々な学習課題に粘り強く最後まで取り組むことができる。 ・自分の学習状況を振り返り、取り組む内容を自分で決めて、自主的に学習することができる。	・良いモデルを示して課題に取り組ませ、適切な賞賛や評価を行うことで、望ましい態度の習慣化を図る。 ・自主学習ノートを互いに見せ合う機会を設け、意欲の向上や持続につなげる。	・継続して良いモデルを示し、望ましい態度の習慣化を図る。 ・自主学習ノートを様々な先生に見てもらいコメントをもらうことで、意欲の向上につなげる。		